

# 図書館の休館日の変更について

H23.2.17 議会説明会資料

平成21年度から祝日を開館日としてきましたが、2年間の利用状況を検証した結果、現状の職員体制を維持しながらより効率的な図書館サービスを提供するため、平成23年度から祝日を休館日とします。ただし、土・日曜日が祝日にあたる場合は開館とします。

## 1. 祝日開館の利用状況

利用状況を「平日」、「休日（土・日）」、「祝日」に区分すると、「休日」は1日平均4,000冊以上の貸出冊数となる。「平日」の平均は2,300冊、「祝日」は2,641冊である。

さらに、ハッピーマンディを含む「土・日・祝（月）」の3連休の3日間を合わせると、平均10,788冊、通常の「休日（土・日）」の2日間の合計が9,432冊となっている。このことから、祝日（月）を開館することにより、1,356冊の貸出が増えていくことになるが、平日が振替休館となるため、差し引きすると逆に約1,000冊の減少となる。

5月・9月の大型連休の「祝日」の貸出冊数は、「平日」より下回るが、祝日の前日、翌日が休館に当たる「祝日」については、「休日」と同様の多くの貸出冊数となる。したがって、「祝日」の貸出冊数は、上記の通り「平日」より14.8%増となるが、3連休については、土・日曜日の2日間の集中型から、ハッピーマンディの月曜日を含め3日間に分散する形となり、利用者の増加につながっていないのが実情である。

### 貸出冊数比較

	合計貸出冊数	一日平均貸出冊数
土・日・祝（月）の3連休	3日間合計 10,788冊	3,596冊
土・日曜日（2日分）	2日間合計 9,432冊	4,716冊
		祝日の増加分 1,356冊
祝日平均		2,641冊
平日平均		2,300冊

## 2. 平日振替休館の課題

財政再構築プログラムにより経費を削減するため、職員を5名削減し、平成21年度より月曜・火曜を休館とし、祝日を開館日としてきた。その結果、祝日開館に伴う平日の振替休館日の増加による課題が生じている。

① 平日開館日が少なくなり、保・幼・小・中学校との連携に支障が出ている。

平成21年度より実施した火曜日の休館と祝日開館による平日の振替休館日を加えると、平日の休館日が増え、保・幼・小・中学校との連携に支障が生じている。

② 市民ボランティアの積極的な支援が促せない。

図書館では「おはなしボランティア」や「音訳ボランティア」など多くの市民ボランティアの活動に支えられて図書館サービスを実施している。しかし、平成21年度からは平日休館が増加したため活動日が減少している。

③ 開館日が不規則であるため、利用者に不便をかけている。